

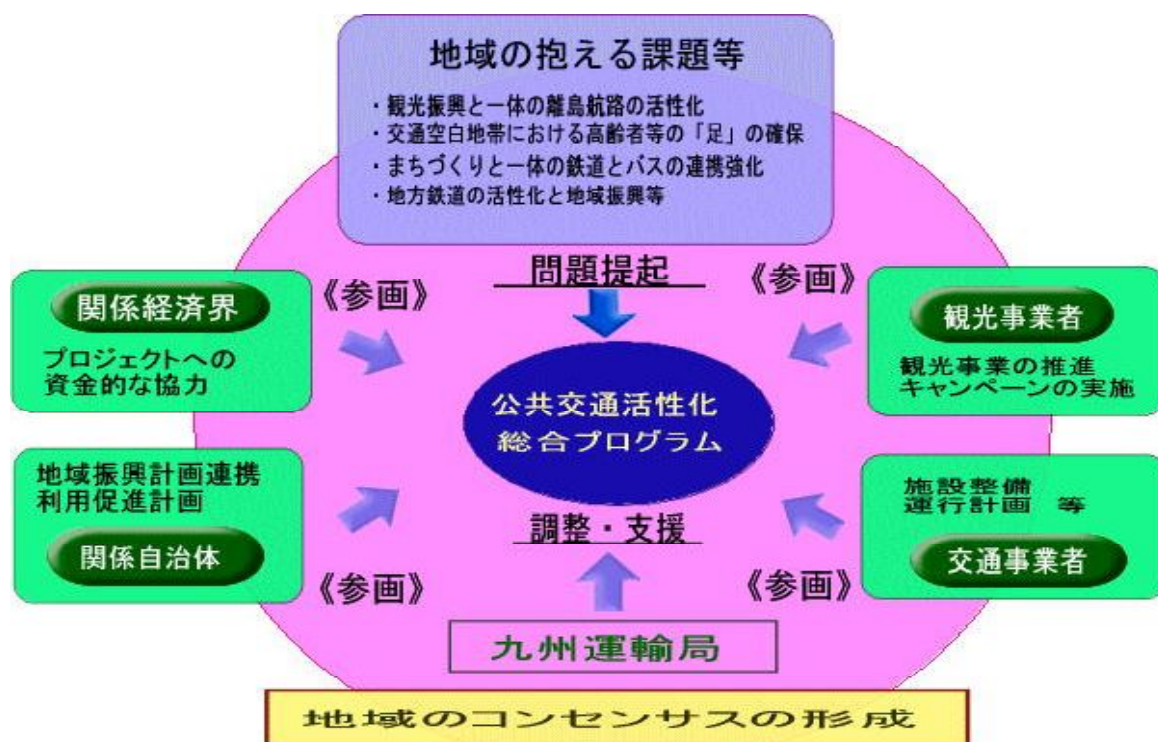
平成20年11月21日

### 平成20年度公共交通活性化総合プログラムについて ～ 今年度は10件実施しています ～

「公共交通活性化総合プログラム」は、平成14年度から導入された制度であり、今年度で7年目を迎えます。

九州運輸局では、公共交通の活用及びその維持・活性化並びに改善を図るために、これまでも多くの案件を手がけてまいりましたが、今年度については、「地域公共交通活性化・再生総合事業」の準備段階として活用できる事案を中心に、別紙の10件（地域別：全九州1、福岡1、長崎1、熊本2、大分1、宮崎1、鹿児島3）を採択し、取り組んでいるところです。引き続き、九州運輸局では、交通事業者、観光事業者、関係自治体、関係経済界等とともに、地域公共交通の活性化・再生に向けて、これらの支援制度を活用するとともに、ノウハウの提供、助言・相談活動も強化していきます。

(制度イメージ)



<問い合わせ先>

九州運輸局企画観光部交通企画課

担当 大塚、須藤、岩本

電話 092-472-2315

	案 件 名	内 容
1	福岡市におけるコンパクトシティ形成に資する公共交通の活性化	<p>&lt; 地域：福岡市 &gt;</p> <p>地下鉄、バスそれぞれの特性を生かした持続可能なコンパクトシティを形成するため、福岡市、交通事業者間で公共交通の将来像を共有するための調査検討を行うことが目的。 平成20年6月に検討委員会を設置。 現在までに、関係者間の協議を重ね、公共交通の現状の把握及び異なる公共交通機関相互の乗継連携等の課題整理を実施。今後、将来像の検討やその実現に向けた検討を進める予定。</p>
2	MMによる長崎型公共交通利用促進方策に関する検討	<p>&lt; 地域：長崎市 &gt;</p> <p>公共交通の活性化と中心市街地における交通渋滞の改善を図るため、関係する自治体、交通事業者、経済界と一体となってMM( )手法を活用した取組を実施する契機を作ることが目的。 平成20年8月に検討委員会を設置。 現在までに、企業及びマイカー通勤者へのアンケートを実施。その結果を受けて、平成21年1月に三菱重工業(株)香焼工場のマイカー通勤者を対象とした3日間の実証実験(バス運行及び旅客船運航)を計画中。 モビリティ・マネジメント：環境や健康などに配慮した交通行動を、大規模かつ個別的に呼びかけていくコミュニケーション施策</p>
3	JR豊肥本線を活用した阿蘇くまもと空港へのアクセス改善方策の検討	<p>&lt; 地域：熊本県(熊本市、菊陽町、大津町、益城町) &gt;</p> <p>JR豊肥本線とバスの連携強化によるくまもと阿蘇空港の活性化を図るため、同空港への新たなアクセス方法に係る課題・問題点等について、関係自治体、交通事業者等とともに調査検討を行うことが目的。 平成20年10月に検討委員会を設置。 第1回目の検討委員会では、JR豊肥本線の肥後大津駅を起点としたシャトルバスのあり方を検討することを確認。今後、熊本県による実証実験(乗降調査)の結果を踏まえ、新たなアクセス方法について検討を進める予定。</p>
4	鉄道を中心とした人吉球磨地域の公共交通活性化について	<p>&lt; 地域：熊本県人吉球磨地域 &gt;</p> <p>関係自治体と交通事業者が今後取り組むべき施策の基本的考え方となる人吉球磨地域の公共交通の再編基本構想をとりまとめるため、くま川鉄道及びJR肥薩線を活用した地域振興策や観光振興策の調査検討を行うことが目的。 平成20年8月に検討委員会を設置。 現在までに、自治体担当者とともに主要駅での交通結節点の点検活動及び地域住民や利用者へのアンケート調査を実施し、データの分析や課題の抽出を実施中。</p>
5	宮崎市におけるバスの利用促進と活性化方策について	<p>&lt; 地域：宮崎都市圏 &gt;</p> <p>宮崎都市圏において路線バス及びJRの利用者を増加させるため、昼間時間帯の潜在的利用者である主婦層や60歳以上の年齢層をターゲットとした利用促進策を調査検討することが目的。 平成20年10月に検討委員会を設置。 現在までに、市内中心部でのニーズ調査を実施。今後、郊外部でアンケート調査を実施し、地域住民等に対する情報提供のあり方等公共交通の利用促進策についてとりまとめる予定。</p>

	案 件 名	内 容
6	鹿児島空港アクセスバスの活性化に関する調査	<p>&lt; 地域：鹿児島市、薩摩川内市、鹿児島空港 &gt;</p> <p>昨年度調査結果( )を踏まえ鹿児島空港へのアクセスバスの利便性を向上させるため、鹿児島中央駅及び薩摩川内市からの空港アクセスバスを代表事例として調査検討を行うことが目的。 平成20年7月に検討委員会を設置。 現在までに、アクセスバスの現状調査及び鹿児島空港利用者アンケートを実施。今後、アクセスバスや鹿児島空港ターミナルの改善点をとりまとめる予定。 平成19年度「鹿児島空港を核とした地域活性化策検討会」(本省航空局主催)によるアンケートによれば、鹿児島空港アクセスバスの改善を求める回答が多かった。</p>
7	奄美大島及び加計呂麻島における公共交通活性化に関する調査	<p>&lt; 地域：奄美大島、加計呂麻島 &gt;</p> <p>奄美交通線の撤退という状況変化を踏まえ、奄美大島及び加計呂麻島における持続的な公共交通を形成するため、路線バス等の効率的な運行に向けて調査検討を行うことが目的。 平成20年8月に検討委員会(北部及び南部で分科会)を設置。 現在までに、公共交通の現況調査及び地域住民のアンケートを実施。今後、アンケートの分析を行い、公共交通の維持に向けた方策を検討する予定。</p>
8	薩摩川内市における新たな公共交通システムの構築に関する調査	<p>&lt; 地域：薩摩川内市 &gt;</p> <p>中心市街地等の活性化並びに高齢者等の安全・安心の向上等に貢献する地域公共交通網の構築を行うため、現状のバス交通の見直しや利用促進を図るための調査検討を行うことが目的。 平成20年10月に検討委員会を設置。 現在までに、地域の現状分析を実施。今後、地域住民アンケートを実施・分析し、新たな公共交通システムの構築を検討する予定。</p>
9	大分県内の離島における公共交通活性化に関する調査	<p>&lt; 地域：大分県姫島村、津久見市、佐伯市 &gt;</p> <p>平成22年度予算から国庫補助の受入率が低い航路の県補助率を引き下げる大分県の方針や燃油価格高騰や島民人口の減少等を踏まえ、大分県内の離島航路収支の短期的・中長期的な改善策等を調査検討することが目的。 平成20年12月に検討委員会を設置予定。</p>
10	地域公共交通の活性化・再生マニュアル(九州版)の更新	<p>&lt; 地域：全九州 &gt;</p> <p>地域公共交通の活性化及び再生に必要な人材育成や情報提供の充実・強化を図るため、市町村職員の実務で役立つノウハウや情報を集約したマニュアルを作成することが目的。 平成20年10月に改訂に向けた活動を開始。 現在までに、鉄道や旅客船に関する事例や異なる公共交通機関の乗継連携等に関する視点を新たに盛り込むことを確認。今後、事例収集の上、読者にとって分かりやすい構成となるよう改訂する予定。</p>

# 平成20年度公共交通活性化総合プログラム採択案件について (九州運輸局)

